



目黒区は独自の緊急地震速報を開始します

防災無線塔・区の施設の館内放送でのお知らせを
20年1月から開始します

周囲の状況に応じて、慌てずに、まず身の安全を確保してください

☎防災課防災係 (☎5723-8488)



●目黒区の緊急地震速報とは

気象庁から発信される情報を活用し、区内の地震の揺れが「震度5弱以上」と推定された場合に、59カ所の防災無線塔から放送を行い区民の皆さんにお知らせします。

また、総合庁舎、防災センター、区民センター、区民キャンパス、中目黒スクエアでは館内放送を行います。一部の施設では、地震の揺れが来る前にエレベーターを最寄り階に停止させて、閉じ込めを防止します。



区内59カ所の防災無線塔から
緊急地震速報を放送します

※気象庁からの緊急地震速報は、震度4以上と推定したときに発信されます。

※目黒区では、震度5弱以上と推定されたときに放送を行うため、テレビ・ラジオで震度4と推定された緊急地震速報があっても、防災無線塔からの放送や各施設での館内放送は行いませんので、ご注意ください。

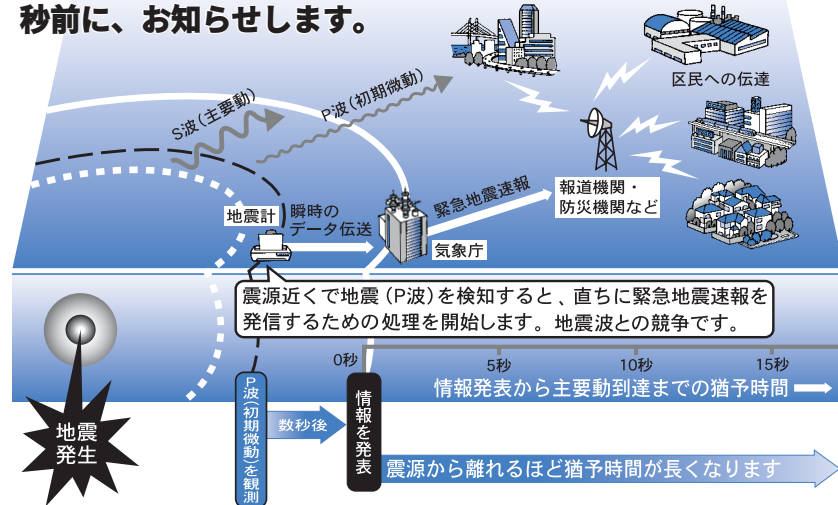
●「緊急地震速報」とは

気象庁が10月1日から一般向けに開始した緊急地震速報は、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）の地域名（「東京」または「東京23区」）を、揺れが来る前にお知らせするものです。

テレビ・ラジオや一部の携帯電話などに情報が発信されます。※テレビ・ラジオなどの電源が入っていない場合は受信できません。また、携帯電話の対応機種は各携帯電話会社にお問い合わせください。

緊急地震速報の仕組み

震源近くで地震（P波〈初期微動〉）をとらえて、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します。
地震による強い揺れ（S波〈主要動〉）が始まる数秒〜数十秒前に、お知らせします。



どんな音で放送されますか？

「(警報音) 緊急地震速報 強い揺れが来ます」

を繰り返し、地震の揺れが来るまで放送を行います。警報音はNHKで採用されているものと同一です。

防災無線では、揺れが来たあと区の地震計で計測した震度をお知らせします。

揺れに間に合わないことがあります

直下型地震など震源に近い場合、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

また、予測震度の強弱に誤差が出ることもあります。

●緊急地震速報を知ったときは

周囲の状況に応じて、慌てずに、まず身の安全を確保してください。



詳細は裏面をご覧ください

事前の備えをしてください

地震による被害を最小限に抑えるためには、事前に、建物に耐震補強をしておくことや、家具が倒れないような対応をしておくことが大切です。区の各種制度をご活用ください。

建物の耐震化に関するお問い合わせはこちらへ

木造住宅などの耐震診断を無料化するとともに、耐震診断、耐震改修などの総合的な相談窓口を開設しています。耐震診断を受けた建物は、工事費の一部を助成する制度もあります。詳細はお問い合わせください。

①木造住宅などの無料耐震診断・木造以外の建物の耐震診断費用の助成

②耐震改修費用の助成

③相談窓口の開設（毎週水曜日13：30～15：30。事前予約制）

☎①②は建築課受付係 (☎5722-9642)

③は建築課構造設備係 (☎5722-9490)

家具の固定用具など防災用品をあっせんしています

あっせん品のチラシは総合庁舎本館1階区政情報コーナー、地区サービス事務所、防災センターで配布しています。

☎防災課防災係 (☎5723-8700)